

(平成31年4月修正)

青森県景気動向指数(DI版)

平成29年3月分

先行指数	62.5%	(6カ月連続で50%を上回った)
一致指数	71.4%	(3カ月連続で50%を上回った)
遅行指数	57.1%	(3カ月連続で50%を上回った)

平成29年6月

青森県企画政策部統計分析課

1. 平成29年3月分結果概要

先行指数	62.5%	(6カ月連続で50%を上回った)
一致指数	71.4%	(3カ月連続で50%を上回った)
遅行指数	57.1%	(3カ月連続で50%を上回った)

3月の一致指数は、消費・流通関連の指標がプラスになったことから50%を上回った。

2. 個別系列の動き

プラスの指標		マイナスの指標	
先行系列			
生産財生産指数	8カ月連続	乗用車新車登録届出台数	6カ月ぶり
新規求人倍率(全数)	13カ月連続	新設住宅着工床面積	2カ月連続
日経商品指数(42種)	9カ月連続	建築着工床面積	5カ月ぶり
企業倒産件数	4カ月連続		
中小企業景況DI	2カ月連続		
一致系列			
百貨店・スーパー販売額(既存店)	3カ月連続	鉱工業生産指数	3カ月ぶり
旅行取扱高	2カ月連続	所定外労働時間指数(全産業)	4カ月連続
投資財生産指数	3カ月連続		
有効求人倍率(全数)	29カ月連続		
輸入通関実績(八戸港)	6カ月連続		
遅行系列			
常用雇用指数(全産業)	3カ月連続	家計消費支出(勤労者世帯:実質)	5カ月ぶり
県内金融機関貸出残高	5カ月ぶり	有効求職者数(全数)	2カ月ぶり
青森市消費者物価指数(総合)	6カ月連続	りんご消費地市場価格	6カ月ぶり
公共工事請負金額	3カ月連続		

3. 変化方向表

系 列 名	28年					29年							
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
先 行 系 列													
1. 乗用車新車登録届出台数	+	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	+	-
2. 生産財生産指数	-	-	-	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+
3. 新規求人倍率（全数）	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
4. 日経商品指数（42種）	+	+	+	0	+	+	+	+	+	+	+	+	+
5. 新設住宅着工床面積	+	+	+	+	-	+	-	+	+	-	+	-	-
6. 建築着工床面積	-	+	-	+	+	-	-	-	+	+	+	+	-
7. 企業倒産件数	-	-	+	-	0	+	-	-	0	+	+	+	+
8. 中小企業景況D I	-	+	-	+	0	+	-	0	-	0	-	+	+
先 行 指 数	50.0	75.0	62.5	81.3	62.5	87.5	37.5	68.8	81.3	81.3	87.5	87.5	62.5
一 致 系 列													
1. 百貨店・スーパー販売額（既存店）	-	+	-	-	-	-	-	+	+	-	+	+	+
2. 旅行取扱高	+	+	-	-	+	+	-	+	-	+	-	+	+
3. 鉱工業生産指数	+	+	-	+	+	-	-	+	+	-	+	+	-
4. 投資財生産指数	+	+	+	+	+	+	-	+	+	-	+	+	+
5. 有効求人倍率（全数）	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
6. 輸入通関実績（八戸港）	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+
7. 所定外労働時間指数（全産業）	-	-	-	+	+	-	-	+	+	-	-	-	-
一 致 指 数	57.1	71.4	28.6	57.1	71.4	42.9	14.3	100.0	85.7	42.9	71.4	85.7	71.4
遅 行 系 列													
1. 家計消費支出（勤労者世帯:実質）	-	-	+	-	-	+	+	-	+	+	+	+	-
2. 常用雇用指数（全産業）	+	0	+	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+
3. 有効求職者数（全数）	+	+	+	+	+	+	-	+	-	-	-	+	-
4. 県内金融機関貸出残高	+	-	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	+
5. 青森市消費者物価指数（総合）	0	-	-	+	-	-	-	+	+	+	+	+	+
6. りんご消費地市場価格	+	+	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	-
7. 公共工事請負金額	-	+	-	+	+	-	-	-	-	-	+	+	+
遅 行 指 数	64.3	50.0	71.4	71.4	42.9	42.9	28.6	57.1	42.9	42.9	71.4	85.7	57.1

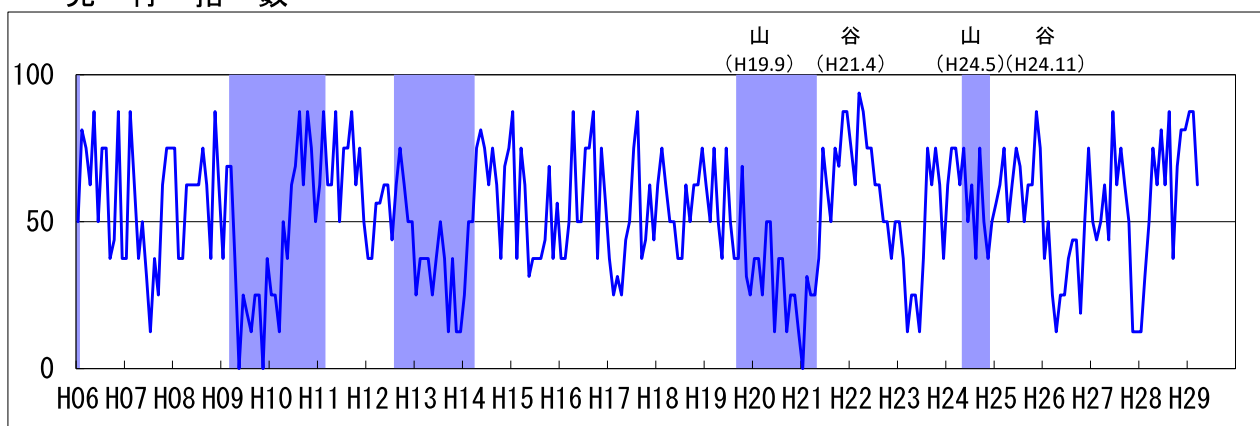
※5カ月前と比べて改善した指標をプラス（+）、悪化した指標をマイナス（-）としています。

先行、一致、遅行のD Iは、それぞれの系列数のうち、プラスの指標が占める割合をあらわしています。

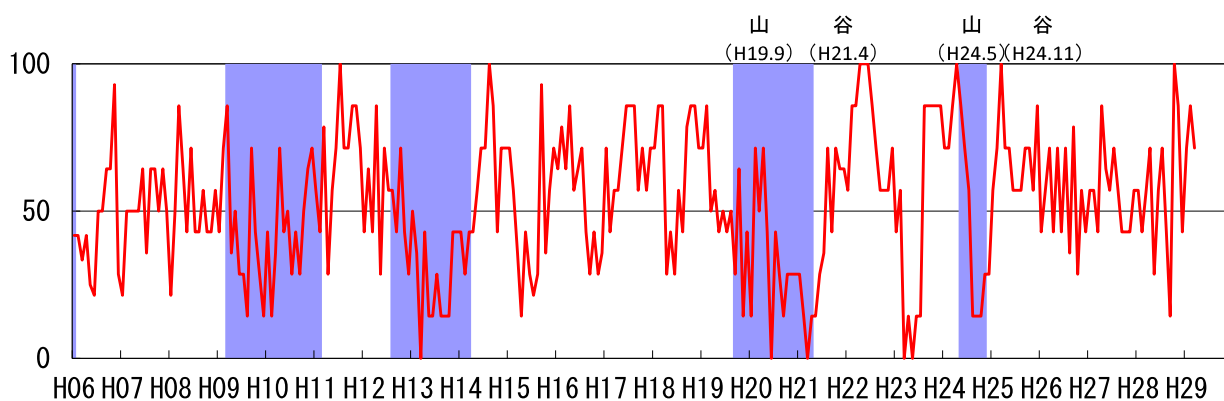
4. グラフ

(1) 各指数のグラフ

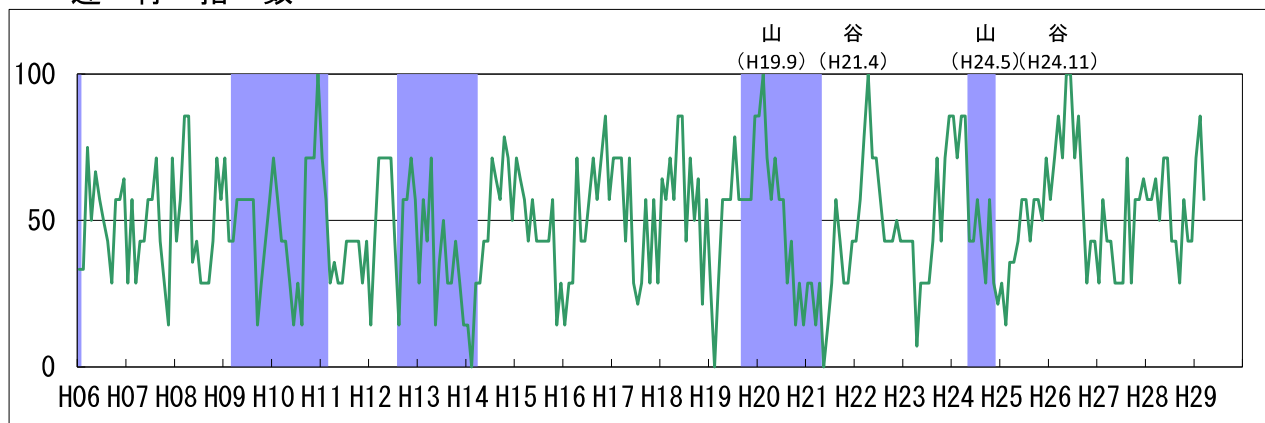
先行指数



一致指数

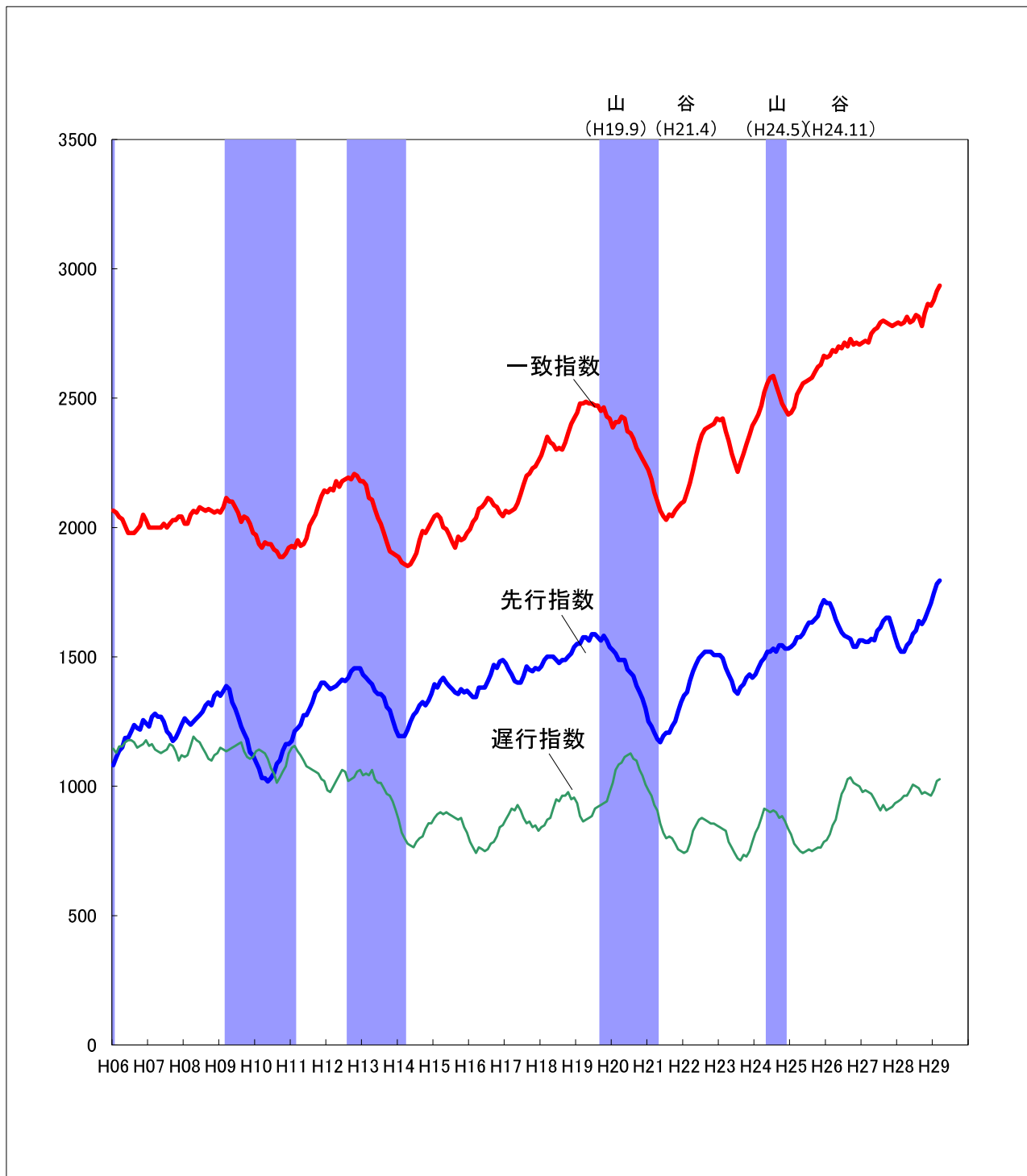


遅行指数



※シャドー部分は本県景気の後退局面。

(2) 累積D Iのグラフ



※累積D I = 先月までの累積D I + 今月のD I - 50 (昭和35年6月を0としています)

月々のD Iから50を引き、累積したものですから、D Iが50%を上回れば上昇し、50%を下回れば下降します。

グラフにすると、景気の基調的な動きが視覚的にわかりやすくなります。

5. 時系列表

先行指數

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H11		62.5	87.5	62.5	62.5	87.5	50.0	75.0	75.0	87.5	62.5	75.0	50.0
H12		37.5	37.5	56.3	56.3	62.5	62.5	43.8	62.5	75.0	62.5	50.0	50.0
H13		25.0	37.5	37.5	37.5	25.0	37.5	50.0	37.5	12.5	37.5	12.5	12.5
H14		25.0	50.0	50.0	75.0	81.3	75.0	62.5	75.0	62.5	37.5	68.8	75.0
H15		87.5	37.5	75.0	62.5	31.3	37.5	37.5	37.5	43.8	68.8	37.5	56.3
H16		37.5	37.5	50.0	87.5	50.0	50.0	75.0	75.0	87.5	37.5	75.0	56.3
H17		37.5	25.0	31.3	25.0	43.8	50.0	75.0	87.5	37.5	43.8	62.5	43.8
H18		62.5	75.0	62.5	50.0	50.0	37.5	37.5	62.5	50.0	62.5	62.5	75.0
H19		62.5	50.0	75.0	50.0	37.5	75.0	50.0	37.5	37.5	68.8	31.3	25.0
H20		37.5	37.5	25.0	50.0	50.0	12.5	37.5	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5
H21		0.0	31.3	25.0	25.0	37.5	75.0	62.5	50.0	75.0	68.8	87.5	87.5
H22		75.0	62.5	93.8	87.5	75.0	75.0	62.5	62.5	50.0	50.0	37.5	50.0
H23		50.0	37.5	12.5	25.0	25.0	12.5	37.5	75.0	62.5	75.0	62.5	37.5
H24		62.5	75.0	75.0	62.5	75.0	50.0	62.5	37.5	75.0	50.0	37.5	50.0
H25		56.3	62.5	75.0	50.0	62.5	75.0	68.8	50.0	62.5	62.5	87.5	75.0
H26		37.5	50.0	25.0	12.5	25.0	25.0	37.5	43.8	43.8	18.8	50.0	75.0
H27		50.0	43.8	50.0	62.5	43.8	87.5	62.5	75.0	62.5	50.0	12.5	12.5
H28		12.5	31.3	50.0	75.0	62.5	81.3	62.5	87.5	37.5	68.8	81.3	81.3
H29		87.5	87.5	62.5									

一致指數

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H11		57.1	42.9	78.6	28.6	57.1	71.4	100.0	71.4	71.4	85.7	85.7	71.4
H12		42.9	64.3	42.9	85.7	28.6	71.4	57.1	57.1	42.9	71.4	42.9	28.6
H13		50.0	35.7	0.0	42.9	14.3	14.3	28.6	14.3	14.3	14.3	42.9	42.9
H14		42.9	28.6	42.9	42.9	57.1	71.4	71.4	100.0	85.7	42.9	71.4	71.4
H15		71.4	57.1	35.7	14.3	42.9	28.6	21.4	28.6	92.9	35.7	57.1	71.4
H16		64.3	78.6	64.3	85.7	57.1	64.3	71.4	42.9	28.6	42.9	28.6	35.7
H17		71.4	42.9	57.1	57.1	71.4	85.7	85.7	85.7	57.1	71.4	57.1	71.4
H18		71.4	85.7	85.7	28.6	42.9	28.6	57.1	42.9	78.6	85.7	85.7	71.4
H19		71.4	85.7	50.0	57.1	42.9	50.0	42.9	50.0	28.6	64.3	14.3	42.9
H20		14.3	71.4	50.0	71.4	42.9	0.0	42.9	28.6	14.3	28.6	28.6	28.6
H21		28.6	14.3	0.0	14.3	14.3	28.6	35.7	71.4	42.9	71.4	64.3	64.3
H22		57.1	85.7	85.7	100.0	100.0	100.0	85.7	71.4	57.1	57.1	57.1	71.4
H23		42.9	57.1	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	85.7	85.7	85.7	85.7	85.7
H24		71.4	71.4	85.7	100.0	85.7	71.4	57.1	14.3	14.3	14.3	28.6	28.6
H25		57.1	71.4	100.0	71.4	71.4	57.1	57.1	57.1	71.4	71.4	57.1	85.7
H26		42.9	57.1	71.4	42.9	71.4	42.9	71.4	35.7	78.6	28.6	57.1	42.9
H27		57.1	57.1	42.9	85.7	64.3	57.1	71.4	57.1	42.9	42.9	42.9	57.1
H28		57.1	42.9	57.1	71.4	28.6	57.1	71.4	42.9	14.3	100.0	85.7	42.9
H29		71.4	85.7	71.4									

遅行指數

年	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
H11		71.4	57.1	28.6	35.7	28.6	28.6	42.9	42.9	42.9	42.9	28.6	42.9
H12		14.3	42.9	71.4	71.4	71.4	71.4	42.9	14.3	57.1	57.1	71.4	57.1
H13		28.6	57.1	42.9	71.4	14.3	35.7	50.0	28.6	28.6	42.9	28.6	14.3
H14		14.3	0.0	28.6	28.6	42.9	42.9	71.4	64.3	57.1	78.6	71.4	50.0
H15		71.4	64.3	57.1	42.9	57.1	42.9	42.9	42.9	42.9	57.1	14.3	28.6
H16		14.3	28.6	28.6	71.4	42.9	42.9	57.1	71.4	57.1	71.4	85.7	57.1
H17		71.4	71.4	71.4	42.9	71.4	28.6	21.4	28.6	57.1	28.6	57.1	28.6
H18		64.3	57.1	71.4	57.1	85.7	85.7	42.9	71.4	50.0	64.3	21.4	57.1
H19		28.6	0.0	28.6	57.1	57.1	57.1	78.6	57.1	57.1	57.1	57.1	85.7
H20		85.7	100.0	71.4	57.1	71.4	57.1	57.1	28.6	42.9	14.3	28.6	14.3
H21		28.6	28.6	14.3	28.6	0.0	14.3	28.6	57.1	42.9	28.6	28.6	42.9
H22		42.9	57.1	78.6	100.0	71.4	71.4	57.1	42.9	42.9	42.9	50.0	42.9
H23		42.9	42.9	42.9	7.1	28.6	28.6	28.6	42.9	71.4	42.9	71.4	85.7
H24		85.7	71.4	85.7	85.7	42.9	42.9	57.1	42.9	28.6	57.1	28.6	21.4
H25		28.6	14.3	35.7	35.7	42.9	57.1	57.1	42.9	57.1	57.1	50.0	71.4
H26		57.1	71.4	85.7	71.4	100.0	100.0	71.4	85.7	57.1	28.6	42.9	42.9
H27		28.6	57.1	42.9	42.9	28.6	28.6	28.6	71.4	28.6	57.1	57.1	64.3
H28		57.1	57.1	64.3	50.0	71.4	71.4	42.9	42.9	28.6	57.1	42.9	42.9
H29		71.4	85.7	57.1									

6. 個別系列の値

列名			単位	28年		29年			
				10月 (比較月)	11月	12月	1月	2月	3月
先行系列	1. 乗用車新車登録届出台数	前	%	5.5	9.5	1.0	6.7	5.6	4.6
	2. 生産財生産指数	前	%	0.0	12.1	9.8	11.0	3.7	2.9
	3. 新規求人倍率(全数)	季	倍	1.56	1.63	1.65	1.70	1.55	1.63
	4. 日経商品指数(42種)	前	%	△ 3.9	0.7	5.0	10.1	11.2	11.3
	5. 新設住宅着工床面積	前	%	32.4	32.8	3.0	42.5	△ 41.4	13.9
	6. 建築着工床面積	前	%	△ 22.5	3.8	12.2	14.5	49.5	△ 40.3
	7. 企業倒産件数(逆サイクル)	前	%	0.0	0.0	△ 60.0	△ 25.0	△ 40.0	△ 33.3
	8. 中小企業景況DI	原	—	△ 33.3	△ 33.3	△ 33.3	△ 40.0	△ 36.7	△ 23.3
一致系列	1. 百貨店・スーパー販売額(既存店)	前	%	△ 0.4	0.1	△ 1.0	△ 2.0	△ 2.9	0.2
	2. 旅行取扱高	前	%	△ 1.5	0.5	36.8	1.0	6.3	6.3
	3. 鉱工業生産指数	季	—	109.8	119.8	112.7	112.8	110.5	102.4
	4. 投資財生産指数	季	1000kw	104	139	115	123	121	108
	5. 有効求人倍率(全数)	季	倍	1.13	1.16	1.19	1.23	1.20	1.18
	6. 輸入通関実績(八戸港)	前	100万円	△ 16.0	△ 16.9	18.4	△ 11.9	△ 9.0	28.5
	7. 所定外労働時間指数(全産業)	前	%	△ 7.8	6.6	7.5	△ 25.5	△ 23.5	△ 22.7
遅行系列	1. 家計消費支出(勤労者世帯:実質)	季	円	284,354	329,380	278,364	286,964	295,636	283,398
	2. 常用雇用指数(全産業)	前	%	△ 6.2	△ 0.3	△ 0.5	3.8	3.0	2.8
	3. 有効求職者数(全数)(逆サイクル)	前	%	△ 8.5	△ 8.2	△ 9.9	△ 9.3	△ 9.5	△ 5.9
	4. 県内金融機関貸出残高	前	%	3.4	3.4	2.8	2.6	2.7	3.6
	5. 青森市消費者物価指数(総合)	前	%	△ 0.4	0.2	0.7	1.2	1.0	1.0
	6. りんご消費地市場価格	季	円	377	373	369	350	326	294
	7. 公共工事請負金額	前	%	△ 31.0	2.3	△ 19.2	36.0	145.9	69.9

季=センサス局法X-1 2-ARIMAによる季節調整値

前=前年同月比

原=原データ

※季節調整値と前年同月比は、統計分析課において計算したものです。

従って、他の報告書等で公表された数字とは異なりますので、ご注意ください。

※先行系列「生産財生産指数」「新規求人倍率」、一致系列「鉱工業生産指数」「投資財生産指数」「有効求人倍率」「所定外労働時間指数」、遅行系列「常用雇用指数」「公共工事請負金額」について、過去の数値を見直したことから、過去の公表値とは異なります。

(参考1) 景気動向指数について

① 青森県景気動向指数について

(沿革)

昭和56～57年度に開発（昭和35年まで遡及）

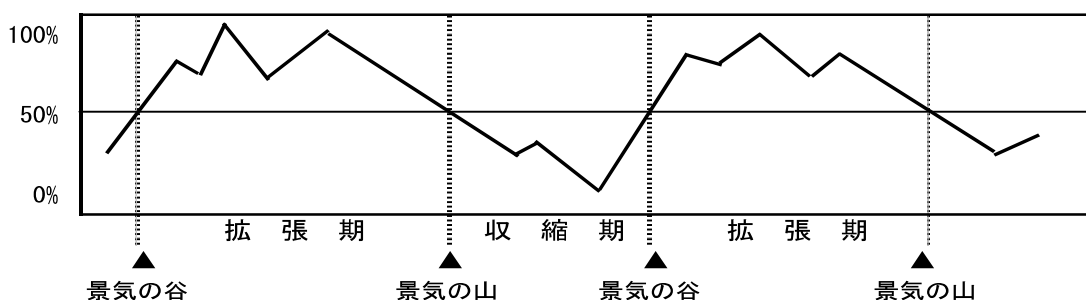
(目的)

1. 景気の転換点を見いだす手がかりとする。
2. 景気の局面を、客観的、継続的に判断するとともに、景気の先行きを判断する手がかりとする。
3. 地域固有の変動パターンや、全国とのリード・ラグを明らかにする。

② 景気動向指数（DI）の見方

1. DIは、0から100%の間で変動する。
2. DIが、50%ラインを上回っている期間が景気の拡張期（好況）であり、50%ラインを下回っている期間が景気の収縮期（不況）である。
3. DIが、50%ラインを上から下に切る時点が「景気の山」（拡張期から収縮期への転換点）、50%ラインを下から上に切る時点が「景気の谷」（収縮期から拡張期への転換点）である。

③ DIの動きと景気の局面



④ 青森県と全国の景気基準日付一覧表

循環区分 (国)	青森県					全国				
	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環	山	谷	拡張期間	後退期間	全循環
4	S37.6	S37.12		6カ月		S36.12	S37.10	42カ月	10カ月	52カ月
5	S39.2	S40.1	14カ月	11カ月	25カ月	S39.10	S40.10	24カ月	12カ月	36カ月
	S44.1	S44.9	48カ月	8カ月	56カ月					
6	S46.2	S47.4	17カ月	14カ月	31カ月	S45.7	S46.12	57カ月	17カ月	74カ月
7	S48.9	S50.3	17カ月	18カ月	35カ月	S48.11	S50.3	23カ月	16カ月	39カ月
8	S51.12	S53.3	21カ月	15カ月	36カ月	S52.1	S52.10	22カ月	9カ月	31カ月
9	S55.1	S57.3	22カ月	26カ月	48カ月	S55.2	S58.2	28カ月	36カ月	64カ月
10	S60.4	S62.3	37カ月	23カ月	60カ月	S60.6	S61.11	28カ月	17カ月	45カ月
11	H3.3	H6.1	48カ月	34カ月	82カ月	H3.2	H5.10	51カ月	32カ月	83カ月
12	H9.3	H11.2	38カ月	23カ月	61カ月	H9.5	H11.1	43カ月	20カ月	63カ月
13	H12.8	H14.3	18カ月	19カ月	37カ月	H12.11	H14.1	22カ月	14カ月	36カ月
14	H19.9	H21.4	66カ月	19カ月	85カ月	H20.2	H21.3	73カ月	13カ月	86カ月
15	H24.5	H24.11	37カ月	6カ月	43カ月	H24.3	H24.11	36カ月	8カ月	44カ月

※全国値は内閣府経済社会総合研究所公表資料による。

(参考2) 青森県景気動向指数採用系列の概要

	分野	系列名		作成機関	資料出所	備考
先行系列	消費	1. 乗用車新車登録届出台数	前	青森県 自動車会議所	「自動車登録状況新車月報」	普通+小型+軽乗用
	生産	2. 生産財生産指数	前	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	平成22年(2010年)=100
	雇用	3. 新規求人倍率(全数)	季	青森労働局 職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	
	投資	4. 新設住宅着工床面積	前	県建築住宅課	「建築着工統計月報」	
		5. 建築着工床面積	前	県建築住宅課	「建築着工統計月報」	鉱工業+商業+サービス業 (3カ月後方平均)
	企業活動	6. 企業倒産件数	前	東京商工リサーチ 青森・八戸支店	「青森県企業倒産状況」	負債総額1千万円以上 ※逆サイクル(3カ月後方平均)
		7. 中小企業景況DI	原	青森県中小企業 団体中央会	「中小企業あおもり」	前年同月と比べた景況感
	物価	8. 日経商品指数(42種)	前	日本経済新聞社	「日本経済新聞」	
一致系列	消費	1. 百貨店・スーパー販売額(既存店)	前	東北経済産業局	「東北地域百貨店・スーパー販売額動向」	既存店 前年同月比
		2. 旅行取扱高	前	日本銀行 青森支店	「県内金融経済概況」	県内から県外(国内外)への旅行取扱総額(県内旅行代理店10社)
	生産	3. 鉱工業生産指数	季	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	平成22年(2010年)=100
		4. 投資財生産指数	季	県統計分析課	「鉱工業生産指数」	平成22年(2010年)=100
	雇用	5. 有効求人倍率(全数)	季	青森労働局 職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	
		6. 所定外労働時間指数	前	県統計分析課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、全産業 平成27年(2015年)=100
	物流	7. 輸入通関実績(八戸港)	前	八戸税関支署	「八戸税関支署貿易概況」	3カ月後方平均
遅行系列	消費	1. 家計消費支出(勤労者世帯)	季	総務省	「家計調査」	青森市 消費者物価指数により実質化
	雇用	2. 有効求職者数(全数)	前	青森労働局 職業安定部	「職業安定業務取扱月報」	※逆サイクル
		3. 常用雇用指数	前	県統計分析課	「毎月勤労統計調査」	30人以上、全産業 平成27年(2015年)=100
	金融	4. 県内金融機関貸出残高	前	日本銀行 青森支店	「県内金融経済概況」	県内所在の国内銀行、信用金庫、 信用組合の合計(県内店舗ベース)
	物価	5. 青森市消費者物価指数(総合)	前	総務省	「消費者物価指数」	平成27年(2015年)=100
	農林	6. りんご消費地市場価格	季	県りんご果樹課	「りんごの販売価格」	
	財政	7. 公共工事請負金額	前	東日本建設業保証 (株)青森支店	「青森県内の公共工事の動向」	

※季=センサス局法X-1 2-ARIMAによる季節調整値、前=前年同月比、原=原データ

※建築着工床面積については、建築物用途分類が改定されたため、平成15年4月分まで新分類による遡及改定を行っています。

(参考3) 青森県景気動向指数採用系列の変遷

系 列 名		採 用 期 間	
先 行 系 列	乗用車新車登録台数	S42.9	H5.12
	○乗用車新車登録届出台数		H6.1
	百貨店販売額(売場面積当・実質)	S46.6	S56.12
	勤労者世帯家計消費支出(実質)	S38.8	S56.12
	窯業・土石製品生産指数	S37.9	S56.12
	パルプ・紙生産指数		S57.1 H5.12
	○生産財生産指数		H6.1
	新規求人数(常用)	S37.9	S56.12
	新規求人倍率(常用)		S57.1 H5.12
	○新規求人倍率(全数)		H6.1
	所定外労働時間指数(全産業)		H6.1 H27.12
	所定外労働時間数(製造業)	S50.1	S56.12
	入職率(製造業)	S35.6	S49.12
	新設住宅着工戸数		S57.1 H5.12
	○新設住宅着工床面積		H6.1
	○建築着工床面積		H6.1
	○企業倒産件数		S57.1
	企業倒産負債額		
	○中小企業景況DI		H6.1
	取引停止処分(枚数)	S35.9	S56.12
○日経商品指数(42種)		S57.1 H5.12 H6.1	
株式売買高		S57.1 H5.12	
信金・労金貸出残高	S36.6	H5.12	
不渡手形発生率(金額)	S35.6	S56.12	
一 致 系 列	○百貨店・スーパー販売額(既存店)		H6.1
	百貨店販売額(実質)		S57.1 H5.12
	○旅行取扱高		H8.4
	○鉱工業生産指数	S35.6	
	○投資財生産指数		H6.1
	電気機械生産指数		S57.1 H5.12
	木材・木製品生産指数	S35.6	S56.12
	食料品工業生産指数	S35.6	S56.12
	大口電力使用量	S35.6	H27.12
	新規求人倍率	S37.9	S50.12
	○有効求人倍率(全数)		H6.1
	有効求人数(常用)		S51.1 H5.12
	有効求人数(全数)		
	総実労働時間数(全産業)		
	所定外労働時間数(製造業)	S35.6	S49.12
	○所定外労働時間指数(全産業)		H6.1
	入職率(製造業)		S50.1 H5.12
	新設住宅着工床面積	S35.6	S56.12
	建築着工床面積(鉱工業用)	S35.6	H5.12
	○輸入通関実績(八戸港)		H6.1
海上出入貨物量(八戸港)			
東北自動車道IC利用台数		H6.1 H27.12	
日銀券月中発行高			
遅 行 系 列	○家計消費支出(勤労者世帯:実質)		H6.1
	有効求人数(常用)	S37.9	S50.12
	雇用保険受給者実人員		S57.1 H5.12
	○有効求職者数(全数)		H6.1
	現金給与総額(全産業)		H6.1 H27.12
	総実労働時間数(製造業)		S57.1 H5.12
	○常用雇用指数(全産業)		H6.1
	常用雇用指数(製造業)	S35.6	S49.12 S57.1 H5.12
	離職率(製造業)		S50.1-S56.12
	法人事業税調定額	S41.9	S56.12
	人件費比率(製造業)	S35.6	S56.12
	単位労働コスト(製造業)		S57.1 H5.12
	営業倉庫保管残高	S35.6	S56.12
	信用保証申込金額		S57.1 H5.12
	輸入通関実績(八戸港)		S57.1 H5.12
	○消費者物価指数(総合)		H6.1
	消費者物価指数(帰属家賃除く)	S39.8	H15.12
	○県内金融機関貸出残高		H6.1
	預貸率	S35.6	S56.12
	○りんご消費地市場価格		H6.1
○公共工事請負金額		H6.1	

※○印のついた系列は、現時点で採用している系列。

(参考4) 季節調整法 X-12-ARIMAによるARIMAモデル等一覧

データ名	期間	ARIMAモデル	回帰変数	異常値
家計消費支出（勤労者世帯）	1997-2016	(112) (011)	指定なし	なし
りんご消費地市場価格	1997-2016	(111) (111)	指定なし	A01998. Aug, A01998. Oct, LS1999. Sep, A02000. Apr, A02000. Sep, A02004. Aug, A02005. Sep, A02008. Sep, TC2015. Jun, A02016. Sep
青森市消費者物価指数（総合）	1997-2016	(212) (011)	指定なし	LS1997. Apr, LS1998. May, TC1998. Oct, LS2014. Apr

※新規求人倍率、有効求人倍率は、公表された季節調整値をそのまま使用しています。

※鉱工業生産指数は、平成20年1～3月の時点で旧基準との接続を行い、平成16年1月まで遡及した過去時系列（接続指数）を使用しています。

※消費者物価指数（総合）の季節調整値は、家計消費支出（勤労者世帯）の実質化に使用しています。

※最新の季節調整は、平成29年1月分の公表時に遡及して行っています。

<スเปックファイル例>

```
series {
  title="*****"
  start=1997.1
  file="d:\arima\dat\*****.txt"
  span=(1997.1, 2016.12)
}
transform{function=log}
arima{model=(2 1 2) (0 1 1)}
regression{variables=(ao2011.mar,ao2011.apr,ao2011.may)}
estimate{ }
forecast {maxlead=60}
  x11 {appendfcst=yes
  save=(d11 d16)}
}
history {estimates=sadjchng}
```

<ARIMAモデルの決定方法及び回帰変数の組合せ等に関する参考文献>

- ① 奥本佳伸（経済企画庁経済研究所編）『季節調整法の比較研究』（大蔵省印刷局 2000.06）
- ② 奥本佳伸『季節調整法センサス局法 X-12-ARIMA の適用における日本型曜日調整の有効性』（千葉大学経済研究 第16巻第1号 2001.06）
- ② 奥本佳伸『季節調整法センサス局法 X-12-ARIMA の適用における日本型曜日調整の有効性』（千葉大学経済研究 第16巻第1号 2001.06）

問い合わせ先
〒030-8570 青森市長島1丁目1-1
青森県企画政策部統計分析課
統計情報分析グループ
TEL 017-734-9166 (直通)
E-mail tokei@pref.aomori.lg.jp